

目次

第1章	DIPIPM 製品概要		
1.1	製品一覧		
1.2	用途		
1.3	機能・特長		
	1.3.1 機能概要	1.3.2 製品の特長	
第2章	DIPIPM のスペックについて		
2.1	最大定格		
2.2	電気的特性		
	2.2.1 熱抵抗	2.2.2 静特性およびスイッチング特性	2.2.3 制御(保護部)特性
2.3	推奨使用条件		
2.4	従来品と鉛フリー品の差異について		
第3章	パッケージについて		
3.1	大型 DIPIPM 外形寸法		
3.2	小型 DIPIPM 外形寸法		
3.3	従来品と鉛フリー品の差異について		
3.4	絶縁距離について		
3.5	レーザーマーク位置について		
3.6	入出力端子について		
	3.6.1 入出力端子配列と説明	3.6.2 入出力端子	3.6.3 保護機能
	3.6.4 DIPIPM の動作シーケンスについて	3.6.5 取り付け方法と注意点	
第4章	DIPIPM の使用方法と応用について		
4.1	システム接続図		
4.2	入力回路について		
	4.2.1 制御入力端子構造と応用例について	4.2.2 入力耐圧について	
	4.2.3 最小入力パルス幅について		
4.3	単電源駆動方式		
	4.3.1 初期充電動作	4.3.2 インバータ動作中のブートストラップ充放電動作	
4.4	インターフェイス回路例と注意事項		
	4.4.1 直接入力(PS21562-P/PS21563-P の場合)	4.4.2 直接入力(PS21564-P の場合)	
	4.4.3 直接入力(PS2186X-P の場合)	4.4.4 高速フォトカプラ使用時(PS2186X-P の場合)	
	4.4.5 スナバコンデンサの設置位置について	4.4.6 DIPIPM 複数個接続について	
	4.4.7 入力信号接続	4.4.8 外部接続シャント抵抗配線	
	4.4.9 PCB設計時の注意点について		
4.5	短絡保護動作		
	4.5.1 短絡保護動作タイミングチャート	4.5.2 電流検出用抵抗値の決定方法と注意事項	
	4.5.3 短絡保護動作におけるフィルター回路(RC 時定数)の設定方法		
	4.5.4 DIPIPM の安全動作領域 SOA(スイッチング時、短絡時)		
	4.5.5 動作寿命について		
4.6	Fo 回路について		
4.7	制御電源電圧に関する注意事項		
	4.7.1 電源電圧低下保護動作タイミングチャート	4.7.2 その他の注意事項	
4.8	パワー・ロスと放熱設計		
	4.8.1 損失計算方法(例)	4.8.2 温度上昇の考え方と計算例	
4.9	ノイズ耐量について		
	4.9.1 測定回路	4.9.2 対策と注意事項	
	4.9.3 静電気耐量について		
第5章	その他		
5.1	梱包仕様		
5.2	取り扱いの注意		